

## <こどもの本>

(1)	<b>アラルエン戦記 1-14</b> (1巻を福袋にしました)	ジョン・フラナガン/作	1巻の書誌ID:0012544093
	<b>この本を選んだ人のニックネーム</b>	りんごちゃん	この本は、わたしが 楽しかった/感動した/面白くワクワクした本です。
	<b>わたしはふだん</b>	本を読んでいます。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> この本は、小学校高学年から大人まで楽しめる本です。12才位の子どもが初めて師につき、それぞれの才能を開かせ、助け合い、冒険する話です。読み始めたら止められません。			
<b>本LOVEちゃん♡の感想</b> おもしろく、ワクワクして本の世界に入って時間を忘れてしまいました。とてもよかったです。			
<b>あやさんの感想</b> 昔読んでおもしろかったのを思い出しました。			
(2)	<b>げんちゃんとダイスケ</b>	牧瀬 かおる/著	書誌ID:0013569867
	<b>この本を選んだ人のニックネーム</b>	さくら	この本は、わたしが感動した本です
	<b>わたしはふだん</b>	ボランティア活動をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 普段腹話術をしていまして腹話術の友だちが書かれた本です。とっても読みやすく、楽しい本ですので是非読んでみて下さい。			
<b>まー♡さんの感想</b> げんちゃん&だいちゃん。ちょーかわいー。ヤバイ♡ あなたの友達サイコー でもとってもかなしかった…(T_T)			
(3)	<b>こひつじまある</b>	山内 ふじ江/文・絵	書誌ID:0012831905
	<b>この本を選んだ人のニックネーム</b>	つづみ	この本は、わたしが可愛くてホッとした本です
	<b>わたしはふだん</b>	図書館司書をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 可愛いものは苦手なほうなのですが、この絵本は素直に可愛い! と思え、幼い者が守られているあたたかい雰囲気にホッとしました。			
<b>おりなさんの感想</b> まあるはとてもかわいくてやさしくて、本当に赤ちゃんがみつかってホッとした本です。楽しんで読んでください。			
<b>かなさんの感想</b> まあるがうごいたからびっくりしたよ。なぜかすごい。おんなのこがもててねていたことがすご、とおもった。なんでうごくのかとおもった。おもしろかったよ。いいおはなしだったよ。			

(4)	<b>作ってふしぎ!?</b> <b>トリックアート工作</b>	北岡 明圭/監修	書誌ID:0012336567
	この本を選んだ人の ニックネーム	るーちゃん	この本は、わたしが楽しかった/勉強になった/びっくりした本です。
	わたしはふだん	小学校に行っています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 作れるのがいいな、と思いました。			
<b>Aさんの感想</b> 作ってたしかめてみたいのがいっぱいありました。			
(5)	<b>天山の巫女ソニン 1~6</b> (1巻を福袋にしました)	菅野 雪虫/作	1巻の書誌ID:0011225921
	この本を選んだ人の ニックネーム	小太郎	この本は、わたしが感動して読んだ本です。
	わたしはふだん	畑仕事をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 女の子が知らないうちに人を助け、成長していく話。失敗も多いけれど、まっすぐ進む。見たところぶあついで読むのが大変かと思うかもしれませんが、スッと簡単に読めます。			
<b>Bブック0本kさんの感想</b> おもしろく、でも少しかなしく、あいまいな気持ちになる本だ。でもおススメだ。			
(6)	<b>なぜなぜ2年3年生大百科!</b> <b>650問</b>	リドル☆なぜ田/作	書誌ID:0013442009
	この本を選んだ人の ニックネーム	わーちゃん	この本は、わたしが勉強になった本です。
	わたしはふだん	ボールあそびをしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> まちがいさがしをみたら、すごくおもしろかった。			
(7)	<b>メイベルおばあちゃんの小さかったころ(おばあちゃんの屋根裏部屋 1-10)</b> (1巻を福袋にしました)	アリータ・リチャードソン/作	1巻の書誌ID:0000396281
	この本を選んだ人の ニックネーム	すももちゃん	この本は、わたしが楽しかった本です。
	わたしはふだん	電話をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 小さい時から未来の夢をもって成長するメイベルの姿が感動的です。一度読んだらやめられない。			
<b>まーちゃんの感想</b> すももさんの言うとおり、とても感動的で1度読んだらとまりませんでした。またこの本を書いている人の別の本も読みたいです。			

(8)	<b>ものぐさトミー</b>	ペーン・デュボア/文・絵	書誌ID:0000266460
	この本を選んだ人の ニックネーム	つづみ	この本は、わたしが 友人の子 ども(5歳)にプレゼントして喜 んでもらった本です。
	わたしはふだん	図書館司書をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 友人から「子どもが気に入って、小学生になってからも感想文 を書いたりして長く使えた」と言ってもらいました。 その子も今は大学生。いまの子どもさんにも喜んでもらえるかちょっと心配ですが…。			

**<おとなの本>**

(9)	<b>風に舞いあがる ビニールシート</b>	森 絵都/著	書誌ID:0011841813
	この本を選んだ人の ニックネーム	つづみ	この本は、わたしが 感動した本です。
	わたしはふだん	図書館司書をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> それぞれ独自の世界を持つ短編集です。 「犬の散歩」でヒロインと義母が泣き笑いする場面では、思わず涙が出ました。			
<b>さとっさんの感想</b> さっそく「犬の散歩」から拝読させていただきました。僕は広範囲に物を考える人間です。 自分だけの価値観で作られた森絵都さんの作品は僕に合わないようです。 途中、猫は?猫も同じ境遇だよ、と思ったのは僕だけでしょうか? (数日後、ちょっと待てと思い、もし森さんが何もかも知っていて一般庶民とは「こういうもの なのよ」と指摘するものだとしたら、それはすごい作品なのじゃないか?とってしまった。)			

(10)	<b>くるくるコンパス</b>	越谷 オサム/[著]	書誌ID:0013504600
	この本を選んだ人の ニックネーム	もちちゃん	この本は、わたしが 切なくなった本です。
	わたしはふだん	学校図書館のしごとを しています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> この本のキーワードは「中学生」「修学旅行」「先生」 「大阪ってそんな所じゃないよー」「転校生」です。 もうすぐ修学旅行に行く人も、遠い昔に行った人も、青春にまつわるいろんなできごとに思いを はせるストーリー。エンディングに、涙がとまらない。			
<b>さとっさんの感想</b> これ、1980年代の大阪でしょ。50才の僕にはぴったりだ。 ほんと、なんば怖かったなあー、そんな事思い出しながら読みました。よかったです。 もちちゃんさんは知らないと思うけど、大阪はこんな所だったんですよ。			

(11)	<b>少年少女飛行倶楽部</b>	加納 朋子/著	書誌ID:0012377684
	この本を選んだ人の ニックネーム	もちちゃん	この本は、わたしが 青春を思い出した本です。
	わたしはふだん	学校図書館のしごとを しています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> この本のキーワードは「部活」・「先輩」・「中学生」 「個性」・「成長」・「目標」です。 青春まっただなかの人も、もう遠い思い出だなあ…と感じている人も、登場人物たちの 「目標に向かって努力する」姿を見て、応援したくなるはず!!			
<b>さとっさんの感想</b> 僕はこういう明るい青春小説よりも、暗い綿矢りささんのような文学青春小説が好きだな。			
(12)	<b>しょっぱいドライブ</b>	大道 珠貴/著	書誌ID:0010477569
	この本を選んだ人の ニックネーム	さとっさん	この本は、わたしが 楽しかった本です。
	わたしはふだん	音楽家をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> いい加減なまわりの大人たちをユーモラスにえがいた 笑える本。			
<b>こどもさんの感想</b> こどもなので読めませんでした…。がっかりです。			
(13)	<b>スーツケースの半分は</b>	近藤史恵/著	書誌ID:0013789764
	この本を選んだ人の ニックネーム	もちちゃん	この本は、わたしが 旅に行きたくなった本です。
	わたしはふだん	学校図書館のしごとを しています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 旅に出る時、スーツケースの半分には荷物を詰め、 半分は帰路のお土産のために空けておく ⇒タイトルの意味 この本は「青いスーツケース」「海外旅行」「ひとり旅」「29歳」「女性」 「思い通りにならないこと」「短編」がキーワード。 読み終えたあなたはきっと旅に行きたくなる！（かも） 旅行の予定がある人もない人も、ぜひ読んでみてください。			
<b>さとっさんの感想</b> 一気に読みました。僕も海外へ行ったことがない。 行くとしたらオーストリア、ウィーン、ザルツブルグ 音楽の都 うー、行ってみたい。			

(14)	それは甘くないかなあ、森くん。	小野寺 史宜/著	書誌ID:0013021380
	この本を選んだ人のニックネーム	さとっさん	この本は、わたしが楽しかった本です。
	わたしはふだん	音楽家をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> この本は社会人になったばかりの青年の話。わかるよ～、わかるよ～。腹立つ事いっぱいあるよネ。でもそれが大人の一步。生きていく上ではガマンしなくちゃ!			
<b>BOOKさんの感想</b> 私は12才なので少しむずかしかったけど、社会について学べてよかったです。社会ってたいへん!			
<b>とっしーさんの感想</b> 会社をやめて友達のところへ泊り歩く森くん。友達って大事だね。			
(15)	「だけ」レシピ -あれこれしない!	市瀬悦子/著	書誌ID:0014565300
	この本を選んだ人のニックネーム		この本は、わたしの役に立った本です。
	わたしはふだん		
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 本のタイトル通りで少ない材料で簡単に出来てしかも美味しいです。 足していくよりもシンプルでもいいことを教えられました。 載っているレシピを全部作りたくて購入しました。おススメです。			
<b>…さんの感想</b> 卵とチーズ これは合いそう 作ってみよう。			
<b>おりなさん(もちもちほっぺ)さんの感想</b> どれも おいしそう。イイネ。たまねぎと とりにくの みそのやつをつくった。			
<b>まー♡さんの感想</b> どれもとてもおいしそう♡ お母さんに作ってもらおーっと♡ ⇒その後 チョコオイシかったー。たまねぎ、おかか、チーズのやつー♡			
<b>あやさんの感想</b> すぐつくりたくなる料理、いっぱいでした。			
<b>ねこねこファンさんの感想</b> いつもくり返しメニューでした。この本のレシピは新鮮な驚きです。 早速メモしたレシピが33種類。面倒さがなく取りかかれる点がGood! 役立ってくれそうです。ありがとうございました!			

(16)	<b>ツリーハウス</b>	角田 光代/著	書誌ID:0012714109
	<b>この本を選んだ人のニックネーム</b>	グリママ	この本は、わたしが感動した本です。
	<b>わたしはふだん</b>	家事をしたり歌を歌ったりしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 3代に渡っての家族の話。ふらっと知り合った二人が結婚し、激動の世の中をくぐり抜けつつ時が経つ。根っこのない家族がいつの間にか大きな心で結びつくひとつの家族になっている…というじっくりじっくり最後に感動する話です。			
<b>あややさんの感想</b> 一気に読みました。この本に出合えてよかったです。			
<b>さとっさんの感想</b> 477ページの長編、角田光代さんと聞いて、さぞ大作だろうなと覚悟して読んだ。しかしあまり感動がない。それは主人公・良嗣があまりパツとしないからだ。おばあさんヤエの話は、戦争のどさくさでふるさとの母・兄弟への不義理でふるさとに帰れなかったというのはわかったが、ただそれだけである。 普通の人の暮らしをへえーと読んだ。もっとグッときてほしかった。			
(17)	<b>ドライブしない?</b>	村上 政彦/著	書誌ID:0000228220
	<b>この本を選んだ人のニックネーム</b>	さとっさん	この本は、わたしが感動した本です。
	<b>わたしはふだん</b>	音楽家をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b> 生い立ちや学校になじめない女の子の新しい出発までの話。前向きな気持ちになれますよ。			
<b>まー♡さんの感想</b> とても前向きな気持ちになりました。感動しました。			
<b>あかちゃんの感想</b> 私は72才の女性です。どんな事が書かれているのだろうか?それなりに考えさせられました。今までの私の事、本に重ねて思い出し、ああ~こういう時もあったなと。 今はダンスにはまって週2回のレッスン。まだまだこれから、先を見て楽しみたいです。			
<b>つづみさんの感想</b> ネタバレご注意↓ 青春の熱っぽいかんじが伝わってきました。 ヒロインが気持ちを切りかえるところがちょっと唐突? 「私」=喬で「由紀」=涼子としか思えないのですが、そこがハッキリしなくて謎です。			

(18) 舟を編む	三浦しをん/著	書誌ID:0012370635
この本を選んだ人の ニックネーム	えっちゃん	この本は、わたしが 楽しかった/勉強になった本で す。
わたしはふだん	読書をしています。	
<b>本を選んだ人からのメッセージ</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 辞典を作るしくみが良くわかりました。</li> <li>・ 誰も悪い人が登場しなく心暖かくなる小説です。</li> <li>・ 映画化もされています。</li> </ul>		
<b>さとっさんの感想</b>		
<p>映画でおもしろいなあーと思ったが、原作の本を読んでいなかった。やっぱりおもしろい。 題名のつけ方もすばらしいし、今まで僕が読んだ本で5本の指に入る。 この世界に光を当てた三浦しをんさん、その視点がすばらしい!</p>		
<b>にゃーにゃさんの感想</b>		
<p>三浦しをんさんはお名前を知るのみで読んだことがありませんでした。 言葉の海を渡る、確実に暖かい辞書という存在をつくり出す人たち。 ユーモアのある中にところどころちりばめられたキラキラ光る、いのちある言葉の数々に 感動しました。</p>		